

令和7年10月14日

報道機関 各位

今福龍太氏 公開講演会の開催について（ご案内）
「遊動、放擲、声一旅（テンベア）の途上で出会ったものたち」

文化人類学者／批評家として高名な今福龍太氏（東京外国語大学名誉教授）による公開講演会「遊動、放擲、声一旅（テンベア）の途上で出会ったものたち」を下記の日程で開催いたします。

つきましては、本催事に関して、取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

名 称 : 遊動、放擲、声一旅（テンベア）の途上で出会ったものたち
日 時 : 2025年10月24日（金） 16時45分～18時30分（開場 16時30分）
場 所 : 富山大学人文学部（富山市五福 3190）
参加対象 : 学生、教員、一般の方
申込方法 : 予約不要

概 要

2025年10月24日（金）に、文化人類学者／批評家として著名な今福龍太氏（東京外国語大学名誉教授）による公開講演会「遊動、放擲、声一旅（テンベア）の途上で出会ったものたち」を開催いたします。

今福氏は1980年代から、メキシコ、カリブ海、アメリカ南部、ブラジルなどに滞在し、調査研究を行ってきました。これまでに30冊以上の著作を発表し、読売文学賞、宮沢賢治賞、角川財団学芸賞などを受賞するなど、高い評価を受けています。

今回の講演では、スワヒリ語で「彷徨い歩くこと」を意味する「テンベア」という概念をもとに、移動と出会いについて、グローバルサウスを中心とする広域的なフィールド調査と思索の成果を、広く一般に向けてご講演いただきます。

※詳細は別添のポスターをご参照ください。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 人文学部 福島亮研究室

TEL : 076-445-6131（人文学部総務課） Email : ryofkshm@hmt.u-toyama.ac.jp

こころの赴くまま、時には彷徨いながら、
こころの赴くまま、時には彷徨いながら、

森のなかを散歩するような思考の足取り
森のなかを散歩するような思考の足取り

幾つもの土地を訪れ、迂回し、人やものと出会いながら、
幾つもの土地を訪れ、迂回し、人やものと出会いながら、

それらと共に踊るような特異な試み
それらと共に踊るような特異な試み

テンベア、それはふらふらと彷徨い歩くこと
テンベア、それはふらふらと彷徨い歩くこと

旅の途上で出会った様々な人やものの〈声〉をめぐる
旅の途上で出会った様々な人やものの〈声〉をめぐる

遊動する学舎
遊動する学舎

今福龍太氏 公開講演会

テンベア

遊動、放擲、声——旅の途上で出会ったものたち

2025年

10月24日（金）

Open 16:30 Start 16:45

富山大学人文学部第四講義室

人文学部棟2階

予約不要、無料、一般参加歓迎

お問い合わせ

ryofkshm@hmt.u-toyama.ac.jp

富山大学人文学部福島亮研究室



ふらふらと彷徨い歩くことを意味する「テンベア」というスワヒリ語の言葉を鍵に、今福龍太氏が出会った様々な人やものの〈声〉について語っていただきます。合目的で直線的な「コストパフォーマンス」の良い振る舞いとはまったく異なる〈遊動的な知〉への誘い。

今福龍太 いまふく りゅうた

文化人類学者／批評家。1955年生まれ。1980年代初頭よりメキシコ、カリブ海、アメリカ南西部、ブラジルなどに滞在し調査研究に従事。その後、国内外の大学で教鞭をとりつつ、2002年より群島という地勢に遊動的な学び舎を求めて〈奄美自由大学〉を創設し主宰する。著書に『クレオール主義』『群島—世界論』『ヘンリー・ソーロ 野生の学舎』（読売文学賞）『霧のコミューン』など多数。

